

あけましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。日頃より町行政運営に対しまして、深い御理解と温かい御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症の第7波による感染が猛威を振るい、当町においても多くの方々への感染が確認され、社会・経済的影響が広がり、町民体育祭や産業まつり等主要事業の中止が余儀なくされました。

また、ロシアによるウクライナ侵攻や円安による物価の高騰が進み生活への影響が大きなものとなっておりま。こうした中、2月には北京冬季オリンピックが開催され、日本選手においては過去最多のメダルを獲得する結果となり、国民に夢と希望を与えていただきました。一方、町の施策等を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、コロナ禍における地域経済の活性化と生活者の負担軽減を目的とした「地域経済活性化・生活者支援商品券発行事業」を実施し、町内全世帯の世帯主9,887人の

方々へ1万円分の商品券の配布を実施いたしました。9月には東京・銚子間を結ぶ高速バスが開通し、町では横芝光インターチェンジバス停留所に無料の利用者専用駐車場を整備いたしました。鉄道と並び東京行きの新たな交通手段として、町民の利便性の向上に資することを期待しております。また、現在進められている横芝小学校と横芝光消防署の改築工事も順調に進んでいるところであります。さて、本年も第2次横芝光町総合計画後期基本計画に掲げる様々な施策を推進し、本計画の基本構想である町の将来像「人・自然・文化が奏でる暮らし夢広がる幸せ実感のまち横芝光」の実現に向け皆様と心を一つに努力を重ねてまいりますので、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。結びに、本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますよう御祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

町長
佐藤 晴彦

新年

12月から新ルートで運行を開始した町内バス



令和4年12月から町の公共交通が大きく変わりました。町内バスが新ルートで運行を開始しています。乗り降りしやすい「ノンステップバス」で、バス内は抗菌加工され感染対策も施されています。また、交通系ICカードの利用も可能になりました。「のりあいよこび一号」は町の北側地域専用車両が配置されたほか、一部町外施設への運行を開始しています。

9月から運行を開始した東京行き高速バス



令和4年9月から東京行きの新たな交通手段として、東京・銚子間を結ぶ高速バスが開通しました。

町では、横芝光インターチェンジバス停留所に無料の利用者専用駐車場を整備しました。約80分でバスターミナル東京八重洲まで行くことができます。